

2024年3月29日

SOMPO インスティテュート・プラス株式会社

## 「SOMPO Institute Plus Report」最新号の発刊

SOMPO インスティテュート・プラス株式会社（取締役社長：司波 卓、以下「当社」）は、この度「SOMPO Institute Plus Report」の最新号（Vol.84）を発刊しましたので、お知らせします。

### 1. 最新号のテーマ

- （1）AI（人工知能）のガバナンス  
～何を制御すべきか～
- （2）世帯の小規模化から見た空き家動向
- （3）自律的なキャリア形成が求められる時代に重要性を増すバウンダリー・マネジメント  
～仕事と仕事以外の境界が曖昧になる現代の境界管理は個人・企業双方に有意義～

### 2. 「SOMPO Institute Plus Report」とは

当社では、経済・財政・金融・社会保障政策、気候変動、まちづくり、モビリティ、ヘルスケア、働き方、ウェルビーイングおよび未来社会等に関する動向を中心に調査しています。本レポートは、1992年から発刊している当社の機関紙であり、調査分野に関する論文を掲載しています。現在は年2回（4月、10月）発刊しており、通巻84号となります。

### 3. その他

SOMPO Institute Plus Report の掲載論文（バックナンバーを含みます。）は、当社ホームページに掲載しています。

また、その他のレポート等についても掲載していますので、併せてご利用ください。

（当社ホームページ） <https://www.sompo-ri.co.jp/publicity/issue-quarterly/>

以上

### お問い合わせ先

SOMPO インスティテュート・プラス株式会社  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 損保ジャパン本社ビル  
TEL:03(3349)5175 （当社ホームページ） <https://www.sompo-ri.co.jp/contact/>



【別紙】SOMPO Institute Plus Report Vol. 84 概要

## (1) AI（人工知能）のガバナンス ～何を制御すべきか～

生成 AI を機に一般の人々も AI 利用を始めました。AI のもたらす問題が多くの人に及ぶようになり、自社業務に AI を利用する企業であっても自主規制（ガバナンス・リスク管理体制への組み込み）という備えが求められます。参考となるのは各国政府が策定した AI 原則です。本稿では 15 の原則を取り上げます。その中には 60 余りの概念が使い分けられており、企業は自らが置かれた立場や AI の利用方法に応じてこれらの概念を取捨選択し、自主規制に組み込むこととなります。そこで「価値／行動」「個人／社会／技術」「既存／新規」という 3 つの分類方法により多岐にわたる概念を整理してみました。

## (2) 世帯の小規模化から見た空き家動向

本稿は、世帯の小規模化が空き家の発生と住宅循環の停滞につながる背景について考察しています。高齢単独世帯の増加は、空き家の大量発生を引き起こしています。また、未婚化を背景とした中年単独世帯の住宅需要は、既存の住宅ストックと合致しないことから新設住宅の建設を促進し、その結果、住宅循環の停滞につながります。特に高齢単独世帯が保有する築古の木造一戸建ては、質的課題があり更新が難しく、早期に買い上げ、借り上げ、小規模世帯に提供し、新たな住宅循環を生み出すための仕組みづくりが今後期待されます。

## (3) 自律的なキャリア形成が求められる時代に重要性を増すバウンダリー・マネジメント ～仕事と仕事以外の境界が曖昧になる現代の境界管理は個人・企業双方に有意義～

仕事と仕事以外の生活との境界が曖昧になりやすい昨今、その境界の管理（バウンダリー・マネジメント：BM）の重要性が増しています。BM を個人が行うには、選好や状況・環境に応じた 3 つの資源（時間的・物理的、心理的・認知的、他者との関係）が必要です。自律的なキャリア形成においても BM が重要です。しかし、「現在」の仕事や仕事以外の生活での BM に、将来への視点が欠かせない自律的なキャリア形成が入ると、「将来」という時間軸が加わり、必要な資源の獲得・再生・維持の難易度が増します。それに対して企業や上司は、資源の獲得・再生・維持を支援できます。自身に合った BM やキャリア自律の実現は従業員の離職率低下や組織へのコミットメント向上などとの関係が指摘されています。個人の BM とキャリア自律を支援する経営は、それらの実現により成長した個人を企業の力にする人的資本経営の一側面と捉えられます。

以上